

議会が注目した事業をピックアップ

令和4年9月定例会において、3年度決算の認定を求める12の議案が提出され継続審査となりました。決算審査特別委員会では、10月から11月にかけて継続審査となった議案について審査を行い、市が3年度の予算を適切に使ったのか確認しました。

審査の流れ

各常任委員会所管分の審査

市の決算は多岐にわたるため、4つの常任委員会（総務・市民環境・教育民生・建設経済）の分野に分けて審査を行います。

10/21	総務委員会
10/24	市民環境委員会
10/26	教育民生委員会
10/31	建設経済委員会

現地視察

11/15
(午前)

総括審査

11/15
(午後)

報告書のとりまとめ・採決

11/21



ここでは、各常任委員会所管の審査を行う中で質疑の多かった事業を取り上げます。

総務委員会 所管

決算額 1億6,641万円

防災対策のため、次のような取組を行いました。

- ・地域防災計画の修正や洪水ハザードマップなどの配付
- ・防災施設や防災資機材の整備や保守・維持管理
- ・自主防災組織の防災力向上を図るための啓発物資の配付や講習会



藤心小学校に設置した防災用簡易井戸

【こんな質疑がありました。】

- Q** 自主防災組織事業として講義映像を制作したとあるが、どのように活用していくのか。
A 新型コロナウイルスの影響を受け、これまで集合型で行っていた講習会を2年度から映像型にしている。また、インターネット配信やDVD等の貸出しも行っている。今後も活用いただけるよう、広く住民の皆さんに周知をしていければと考えている。

教育民生委員会 所管

決算額 1,398万円

インターネットゲートキーパー事業^{知+}をはじめ、自殺予防に関する普及啓発や相談事業、人材育成、遺族支援などの取組を行いました。

知+インターネットゲートキーパー事業

- ・自殺に関する語句をインターネット検索した方に相談窓口を表示させることでメール相談を促すもの

【こんな質疑がありました。】

- Q** インターネットゲートキーパー事業について、委託先の選定方法は。
A 自殺対策に特化した活動に加えて、「インターネットの検索連動広告を活用して相談を必要とする方をピックアップできること」「自殺に関連する相談に対応できる専門的な相談員がいること」という条件を満たす唯一の事業者だったことから一者随意契約で選定した。



市民環境委員会 所管

決算額 2,399万円

コロナ禍のため限定的な実施となりましたが、スポーツ教室や講習会、市民体育大会などを開催しました。

スポーツ推進事業



【こんな質疑がありました。】

- Q** 講座運営委託の内容はどのようなものか。
A 6月にトップアスリート講習会及びスポーツ教室を開催し、パラバドミントン選手による講演会のほか、車椅子バスケットボールや車椅子フェンシングなどの体験教室を実施した。また、10月には、英国車椅子テニス選手団の事前キャンプ地であった吉田記念テニス研修センターにて車椅子テニス体験会等を実施した。

建設経済委員会 所管

決算額 734万円

公共交通空白不便地域の対応策の検討や、町会による買物支援タクシーの実証運行に対する補助金の交付を行いました。

バス交通網整備事業



【こんな質疑がありました。】

- Q** 買物支援タクシーの実証運行について、何回・何人がこの事業を利用したのか。
A 令和3年10月26日に第1回目の運行を開始した。それから年度内に延べ23日運行し、利用者がちょうど100名であった。



実証運行を行った買物支援タクシー「とねっこタクシー」

現地視察

水道部庁舎再整備工事に関する事業

3年度に新庁舎としてオープンした水道部庁舎（4年度からは上下水道局庁舎）について現地視察を行いました。当日は上下水道局の職員から再整備工事について説明を受け、庁舎内を視察しました。



庁舎外観



非常用発電設備

決算審査特別委員会 委員

委員長 助川 忠弘 副委員長 小川百合子
 委員 桜田慎太郎／佐藤 浩／浜田智香子／福元 愛／田中 晋／塚本竜太郎／平野 光一／武藤美津江／林 紗絵子／鈴木 清丞

情報+

議会が市長へ提言した「決算審査報告書」は、市議会ホームページで御覧いただけます。

